

都市再生整備計画 事後評価シート
中里・金田地区

平成24年 3月

栃木県宇都宮市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	栃木県	市町村名	宇都宮市	地区名	中里・金田地区			面積	232.0ha				
交付期間	平成19年度～平成23年度	事後評価実施時期	平成23年度	交付対象事業費	1433.5百万円	国費率	0.403						
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	【道路】市道13381号ほか44路線 【公園】1号公園、2号公園 【高質空間形成施設】歩行者専用道路、地域自治センター周辺街路灯										
		提案事業	【地域創造支援事業】古用水改修整備事業										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	【道路】市道10115号、市道13075号、市道13128号、市道13127号、市道13421号線 【地域生活基盤施設】緑地 【高質空間形成施設】市道13381号線		【道路】事業見直しにより関連計画へ移行 【地域生活基盤施設】事業見直しにより削除 【高質空間形成施設】周辺地区の事業進捗を踏まえ、事業を削除			「用途地域の人口」、「公共施設の利用者数」の指標に影響するが、指標及び数値目標は据え置く					
		提案事業	【まちづくり活動推進事業】公園・広場里親制度		計画期間内に公園愛護会の設置が見込まれないため、事業を削除			「用途地域の人口」の指標に影響するが、指標及び数値目標は据え置く					
	新たに追加した事業	基幹事業	【地域生活基盤施設】西調整池、東調整池		中里原土地区画整理事業に伴い地域防災向上のため事業追加			「用途地域の人口」の指標に影響するが、指標及び数値目標は据え置く					
		提案事業	【地域創造支援事業】国道293号横断水路整備事業、公園進入道路整備事業		中里原土地区画整理事業にあわせ、防災性、安全性の向上のため事業追加			「用途地域の人口」の指標に影響するが、指標及び数値目標は据え置く					
交付期間の変更	当初変更	平成19年度～平成23年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-								
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	指標1	用途地域の人口	人	2,967	H18	3,200	H23		3,352	○	あり なし	・中里原土地区画整理事業や道路整備、公園整備などにより、魅力的な居住地が形成されたことで用途地域の人口が増加している。	平成24年4月
	指標2	公共施設の利用者数	人/年	125,738	H16	130,000	H23		108,500	×	あり なし	・市町合併に伴う料金改定(H20.4月)後、有料化の施設利用者数は大きく減少したが、改定に影響のない施設は伸びを見せている。	平成24年4月
指標3	歩行環境の満足度	%	9.50	H18	20.00	H23		35.20	○	あり なし	・公共施設周辺の道路整備や歩行者専用道路の整備により、安全・安心な歩行空間が確保されたため、歩行環境の満足度が増加した。	-	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	その他の数値指標1	公共施設及び学校開放施設の利用者数	人/年	149,713	H16				156,611			・中里原土地区画整理事業などによる用途地域の人口増加や交差点改良(道路整備)などによるアクセス性向上により、公共施設及び学校開放施設の利用者数が増加した。	平成24年4月
その他の数値指標2													
4)定性的な効果発現状況	・中里原地区(区画整理事業区域及び周辺も含む)においては、宇都宮市景観計画における景観形成推進地区の第1号に指定され、自然環境との調和を図りながら、「新しい街」と「自然」が共存した住環境を創出し、緑豊かな、ゆとりと潤いのある景観形成を推進している。												
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング	-		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-					
	住民参加プロセス	地元自治会と共にワークショップの開催		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● ワークショップ参加者の方々に、公園愛護会設立に向けて働きかけていく。					
持続的なまちづくり体制の構築	公園愛護会設置に向けた働きかけを行う。		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 地元自治会など既存の組織を通して、公園愛護会設置に向けた取組を行っていく。						

様式2-2 地区の概要

中里・金田地区（栃木県宇都宮市）都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
	用途地域の人口	単位：人	2,967	H18	3,200	H23	3,352	H23
大目標：住みやすく暮らしやすい生活都市の形成 目標1：高い利便性と周辺環境と調和した魅力的な居住地づくり 目標2：充実した公共サービス利用等を促す効率的な街なかネットワークづくり 目標3：安全安心の歩行環境づくり	公共施設の利用者数	単位：人/年	125,738	H16	130,000	H23	108,500	H23
	歩行環境の満足度	単位：%	9.50	H18	20.00	H23	35.20	H23



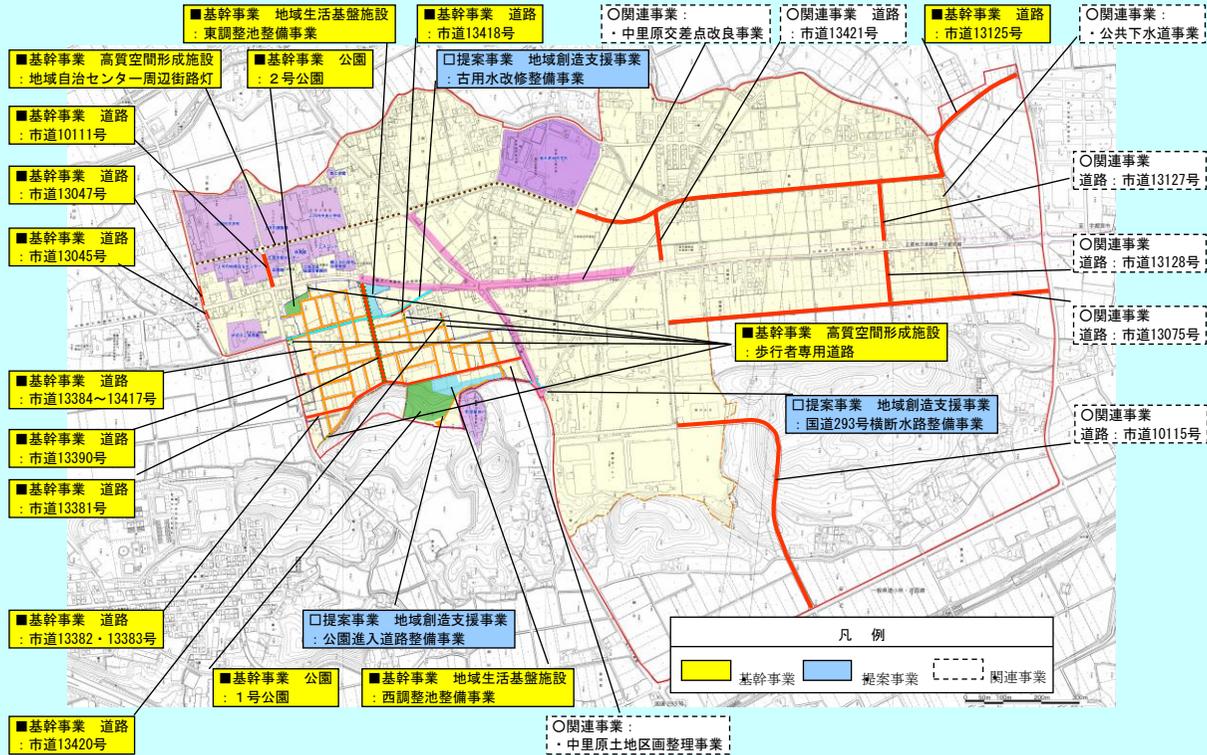
■基幹事業：市道13381号



■基幹事業：市道13125号



■基幹事業：1号公園



□提案事業：古用水改修整備事業



○関連事業：中里原土地区画整理事業



○関連事業：中里原交差点改良事業

まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・中里原地区が「景観形成推進地区」に指定されるなど、自然環境と日常生活が調和した良好な住宅地が創出され、人口定着が図られている。 ・本事業における道路や公園等の公共施設整備により、防災性・安全性の向上が図られた。 ・市道13381号等の道路整備や中里原交差点改良事業により、効率的な市街地内ネットワークの形成が図られており、地元からは地域の実情に合った公共交通に対する要望が高まっている。
今後のまちづくりの方策（改善策を含む）	<ul style="list-style-type: none"> ・中里原地区において、緑豊かな街並みの形成をさらに誘導・推進し、「景観形成推進地区」にふさわしい魅力的なまちづくりを進め、居住人口の増加を図る。また、地区内には新たな住民や幅広い年齢層の住民が居住していることから、自治会への加入促進等により交流の機会を創出する。 ・通行者の安全性を更に高めるため、今後とも、交通安全施設等を補完していく。 ・交通利便性をいっそう高めるため、主要地方道藤原・宇都宮線の4車線化や地域の実情を踏まえ、地域住民と協働で地域にふさわしい新しい公共交通の構築に向けて取り組んでいく。